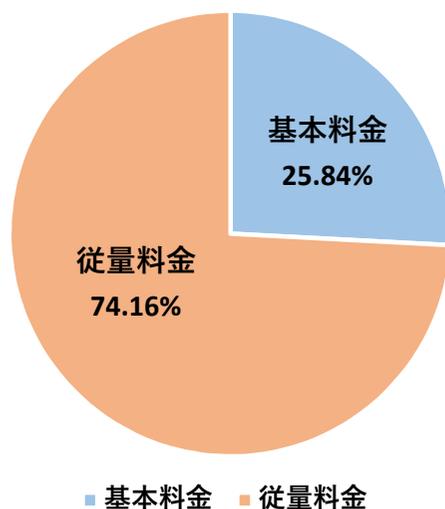


## 参考資料 3. 料金収入の割合等について

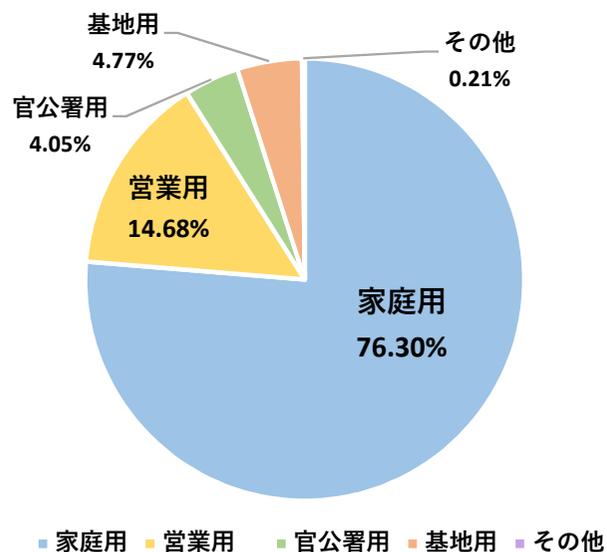
### ◆ 料金収入の割合等について

料金収入のうち、基本料金の占める割合は約26%となっています。

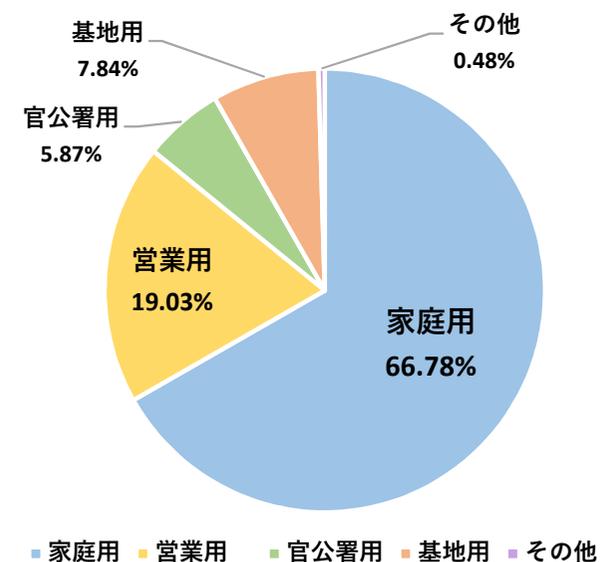
#### 基本料金と超過料金の割合



#### 使用水量の割合



#### 料金収入の割合



◆料金改定の際には、基本料金も一律に改定しなければ、単身世帯（8 m<sup>3</sup>程度）の料金は増えず、2人以上の世帯の負担が増すなどの不公平感が生じます。

◆現状の料金体系においては、用途別を採用し、逡増傾向とすることにより、生活用水（家庭用料金）の低廉化を図っています。家庭用のみ改定率を抑えるなどの場合には、他の用途に必要以上の負担とならないかなどの考慮が必要です。

※家庭用料金の改定率を1%抑えるためには、その他の用途を2%増やさければなりません。